

オホーツク管内 新規就農者 紹介

北見市
池田 直貴さん
なおき
みち
理さん

就農年：2024年2月
作物：玉ねぎ、小麦、大豆、てん菜
作付面積：38ha

就農のきっかけは？

就農前にはお互いに農業に関わる仕事をしており、「いつかは農業に従事したい」と考えていました。

二人とも出身地は道外でしたが、大規模な土地利用型農業に関心があり、道内の支援機関に相談したところ、北見市で第三者継承を希望する福田嘉博さんを紹介いただきました。

2019年から北見市を訪れて福田さんとの面談と農業体験を重ね、第三者継承について合意に達しました。

2022年度から北見市に移住して2年間研修を行い、2024年2月に就農しました。

就農してみて…

😊よかったこと

仕事の方向性や進め方を自分で決められることです。

自分の判断が作物に影響を与えるため、責任の重さを感じますが、どのように仕事を進めていくかを自分で決めていけること、その結果が収量などの形になって見えてくることに充実感を感じています。

😓苦労したこと

常に天候と作物を気にかける必要があり、気持ちのオン/オフの切り替えが難しかったことです。

また、就農1年目で経験がなかったため、自分の作業が十分に進められているか不安がありました。



(写真左から) 福田さん夫妻、池田直貴さん、理さん

就農を目指す皆さんへ

就農して1シーズン経ちましたが、苦労したことよりも、就農して良かったと感じることの方が多いです。農業は、1年間を通して、自分の裁量で作物を育てていけることがなにより魅力的です。農業の経営者としてやりたいことがある人は、それを目指して、ぜひ就農にチャレンジして欲しいと思います。

就農への関心がある方は、支援機関に相談するなど、まず行動に移すことをおすすめします。支援機関に相談することで、就農に関する様々な情報を聞くことができ、就農へのイメージを深めることができます。